

# 閑上地区まちづくり協議会 世話役会(133) 議事録

日 時	平成 30 年 2 月 27 日 (月) 18:30~20:35
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役 : (代表) 針生勉、(副代表) 今野義正、(事務局) 今野慎介、千葉洋子、宇佐美久夫 (事務局) コンサルタント 2 名
オブザーバー	市職員 震災復興部復興区画整理課 1 名 仙台高専 2 名、傍聴者 1 名、新聞会社 1 社
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有 2. 調査報告 3. その他
資 料	資料-0 次第、第 132 回世話役会議事録案 資料-1 公園緑地部会議事概要 資料-2 トレイルセンター計画パンフレット 資料-3 仙台高専研究発表資料

## ○ 協議要旨

### 0. 事前確認について

#### <議事録確認>

- ・第 132 回世話役会議事録は、一部修正して確定することとした。

### 1. 情報共有

#### <名取市からの情報提供>

- ・用途地域の変更説明会の案内と商業施設用地に出店企業が決まったことが報告された。

#### <前回からの動き>

- ・なとり BA、都市マスタープランワークショップ、トレイルセンターの事業説明会、公園緑地部会に参加したそれぞれの世話役からの状況報告があった。

#### <今後の動き>

- ・5 月 20 日の 10:00 から定期総会を開催することとした。

### 2. 調査報告

#### <議事録分析>

- ・大変興味深い分析で、今後とも情報共有を仙台高専と行っていくこととした。
- ・復興公営住宅の論文発表を次回行ってもらうこととした。

### 3. その他

- ・掲示板への掲示要望が複数あるので許可することとした。

## <次回世話役会>

- ・次回世話役会は3月13日（火）とする。

次回予定:世話役会(134)3/（火）18:30～ 名取市震災復興部会議室

## 以下、世話役会の主な意見について記載する。

### 0. 事前確認

#### 資料-0 第132回世話役会議事録案

##### <議事録の確認>

- ・第132回世話役会議事録は、一部修正して、確定した。

### 1. 情報共有

#### <名取市からの情報提供>

→3月5、6日にかわまちエリア付近の用途地域の変更について説明会を開催する。18:30から5日は閑上公民館、6日は市役所で開催する。準工業地域への変更なので、従来どおりの環境を守りつつ、影響の少ない工場立地を可能とするため、変更し、特に賑わいを向上させるためのものである。商業施設用地への出店企業が「いとうチェーン」で決定した。用途地域の変更も行う予定、地元の説明会も今後開催する予定。できる限り、12月くらいまでに説明会できるように準備中である。それ以外にも地区内の市有地の売却についても引き合いが多く、今後とも、定住促進のための活動をしていく。

- ・開店時期はいつごろになるのか？

→宅地造成の関係で平成32年1月以降に建物の着工となるため、開店はその後だろう。早く開店できるように、宅地造成期間でも手続きなど、できることはやっていく。

- ・スーパーが来るということが言えるようになって、うれしいことだ。

#### <前回からの動き>

##### ①なとり BA

・会議時間が足りなかったと感じた。内容は面白かったが、会議後の交流会もテーブル形式で、参加者相互の交流がうまくいっているとは思わなかった。ゆっくり話をする機会がほしいと感じた。

・興味があったのは、広瀬川と名取川の繋がりの中で、舟運は乗船することは特定の目的となり、河川のつながりが有効となり、具体的には仙台空港から仙台市までつながることはできる。但し、船の構造自体で運航できるかどうか疑問なところもあるが、すぐにできるということではないと感じた。

- ・貞山運河では、塩釜までいくとか、今すぐ舟運できるかどうかは問題だが、発想はある。

→従来、舟運の事業者がいなかったが、社会実験として貞山運河の舟運の事業主体が出てきているようなので、市からも情報提供してもらいたい。

- ・そういうことがあると現実味があると思う。

##### ②トレイルセンター

・現地に住んでいると、トレイルというと、ひとごとみたいなのところもあるので、興味を持つことも難しいのではないかと感じる。

- ・閑上の賑わいと関連させることとかが今後期待される。

- ・楽しみではある。
- ・トレイルセンターは、サイクルスポーツセンターや温浴施設などの周辺の施設との連携などでより機能性を高めることも重要だろう。
- ・バックパッカーに対する住民の不安もある。
- ・NPO が事務局のようだが、どんな背景で参加しているのだろうか？
- ・たぶん、環境省とセットで入り込んでいるのだろう。
- ・地元を巻き込むことをワークショップなどをしながら、啓発活動として進めているのではないかと思う。

→市でも情報収集する。

- ・拠点ができるのがいいことだ。運用面については、住民も参加するなどの話ではないかと思う。
- ・他から来て運営され、囲われると困ると思う。
- ・ハードがあってもソフトが付随しないと施設が有効に機能しなくなり、頓挫する可能性もある。
- ・継続的に動向を掴んで行くことが必要だろう。
- ・人との交流が主体であるだろう。運用面などのソフト面の理解度を進める必要があるだろう。

### ③都市計画マスタープラン

- ・ワークショップに4名参加した。付箋に意見を張って整理した。
- ・閉上の将来像や住みたくなる町の条件などが意見として出され、閉上の街としては、稼ぐまちを目指すということになった。
- ・農業とのタイアップ、若い人の働く場所確保のための企業誘致、川や海を活用するソフト施策の展開が必要という意見があった。また、地域コミュニティの形成のためのソフトの展開や仙台までの交通機関の強化が意見として出された。
- ・お年寄りから子供まで住みたくなる町がスローガンとなった。
- ・農業は内陸部の話として、調整区域のことも踏まえて、生かすべき内容であり、マスタープランの中二は入れるべきだろうという話だった。
- ・体験型の農業展開を進めるということも意見としてはあった。

### ④公園緑地部会

- ・提案内容は全部入っていないが、いいものにはなってきたと思う。
- ・アンダーパスの区間を検討していないので、宿題としている。
- ・中央緑道の維持管理の問題は特に、沿道居住者でまめな人はいいが、そうでないと改廃されるので、地域での維持管理のルール作りなども重要だと思う。距離が長いし、緑なども多いので大変だと思う。
- ・1 km 距離があるが、ゾーンの的に整備方針が示されているが、特に、傾斜している区間は工夫ができています。
- ・防犯灯の問題も気になるところだが、東側の工業地にある範囲は提案をしていないので、その部分については、オブジェの設置などの提案もあった。
- ・細かい部分をまとめて提案か、変更できる点を提案としてまとめることもできる。
- ・今までの経過の中で、計画ができてきたので、内容確認というやり方もある。
- ・ポケットパーク、街区公園については、活用方法が住民の中で問題となっている、集会所が足りないという人もいます。公園に立地できないということなので、街区公園には無理という話だが、別の場所でのやり方があるので、住民に耳を傾けさせるとか、理解をしてもらおうとかを求めべきだろう。
- ・集会所は2棟だが、他に必要ということ？

- ・体育館の一部が可能となる可能性もある。
- ・実際はポケットパークに建物を置いて欲しいとの話が、難しいと理解してもらえない。
- ・事業費について資料があるが、公園の整備費にばらつきがある。メリハリのある予算計画だ
- ・ポケットパークについては、町内会を中心に、今後、手をかけるということもありえる。

### <今後の動き>

- ・5月20日の10:00から定期総会を開催することとした。

## 2. 報告事項

### <議事録分析>

→複数協議会の比較を行ったうえで、閑上まち協の議事録の言葉を分解し、期間や発言者との関係性を集計した。その上で、グラフなどで視覚的に示すこととした。

→事務局が議事録を作成しているので、世話役のダイレクトな言葉になっていない部分があると思うので、音声データなどから分析できたらと思うが、事務局としては裸にされているようで気恥ずかしい。

- ・言葉の傾向が把握できて面白い。
- ・地域住民に見られ方として、まち協の議論を言葉の分析として示してもらえると、方向性が見出せてよいし、地域住民への活動報告としても使いやすい。
- ・特に、グラフの分析結果が視覚的に良い。

→言葉の分析が重要な要素となっていたので、特に、時間経過との関係性を見ていくと、言葉が変化してきているのが把握できた。

- ・他の自治体でのまち協活動が、地区数の1/4としているが、3/4についてどうなんだろう。

→公開している資料で分析しているので、もっとあるかもしれない。

- ・他の協議会でこれだけ議事録をまとめているのものが無いのかも知れない。

→議論の方向性を示すのに役立つかもしれない。

- ・論文の英語は？

→一応、フォーマットになっている。概要を英語化している。対外的な人たちにも示すべきだと思う。

→視察にくるときに、議論の場の設定についてどういう風に作るのかを説明できるように振り替えるといいのではないかな？

### <公営住宅の住まい方の論文について>

・災害公営住宅の意向調査の分析である。ポイントは災害公営住宅に入居するまでの話と支援団体の活動との関係性を説明しているところである。段階的なまちづくりが進む中で、移動手段の選択方法なども分析上で重要視している面などもある。

- ・サロンの人に説明してもらったほうが良い。
- ・住まい方についての分析において、外出意欲、生活の閉鎖化、これらを解消するには住宅の使い方への工夫が必要だと思う。単身の人の中の問題なども解決できるのではないかなと思う。

→住まい方の把握世帯数は？

- ・8世帯である。
- ・実際、部屋の中を見せてもらうことは難しい話だったが、貴重な情報だ。
- ・このような研究発表については、情報共有することにより、閑上地区の復興や地域に対する仙台高専の役割も重要になってくると考えられる。

### 3. その他

- ・美田園の仮設住宅から転居して行った方を含め、さいかいの集いを3月31日に開催予定。
- ・まち協の掲示板に、開催予定のチラシを掲示する。
- ・どっとなとりの案内の掲示も事務局へ相談中である。
- ・復興公営住宅の共益費について、まち協からも早急な解決をお願いしたいと申し入れたい。
- ・共益費の問題について、長引かすことはいけない。随時に途中経過などやり取りしないと、こじれるだけ。

→状況を確認する。(市)

#### <次回世話役会>

- ・次回世話役会は3月13日(火)とする。

次回予定:世話役会(134)3/13(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室